



青森県基本計画  
「選ばれる青森」への挑戦  
支え合い、共に生きる

# アウトルック レポート2020

Outlook Report 2020 / Aomori Prefectural Government

2020年7月

## 目次 Contents

### 序章 アウトルックレポートとは

- 1 マネジメントサイクルの展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 構成、内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

### 第1章 めざす姿の実現に向けて

- 1 今後の大きな課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 今後重視していく取組の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 3 戦略プロジェクトの展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

### 第2章 政策点検

- 1 これまでの取組の成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2 分野別政策点検結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
  - I 産業・雇用分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
  - II 安全・安心、健康分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
  - III 環境分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
  - IV 教育・人づくり分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
- 3 地域別政策点検結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
  - 東青地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
  - 中南地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
  - 三八地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
  - 西北地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
  - 上北地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
  - 下北地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
- 4 計画の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
- 5 関連指標の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
- <参考>個別計画一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71

### 第3章 地方創生

- 1 まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略の進捗状況・・・・・・・・ 73
- 2 地方創生関連交付金等に係る事業実施状況・・・・・・・・・・・・ 84

### 資料編

- 高等学校等卒業者の進路状況について～男女別・産業別にみた県内就職率など～・・・・ 89

# 序章 アウトルックレポートとは

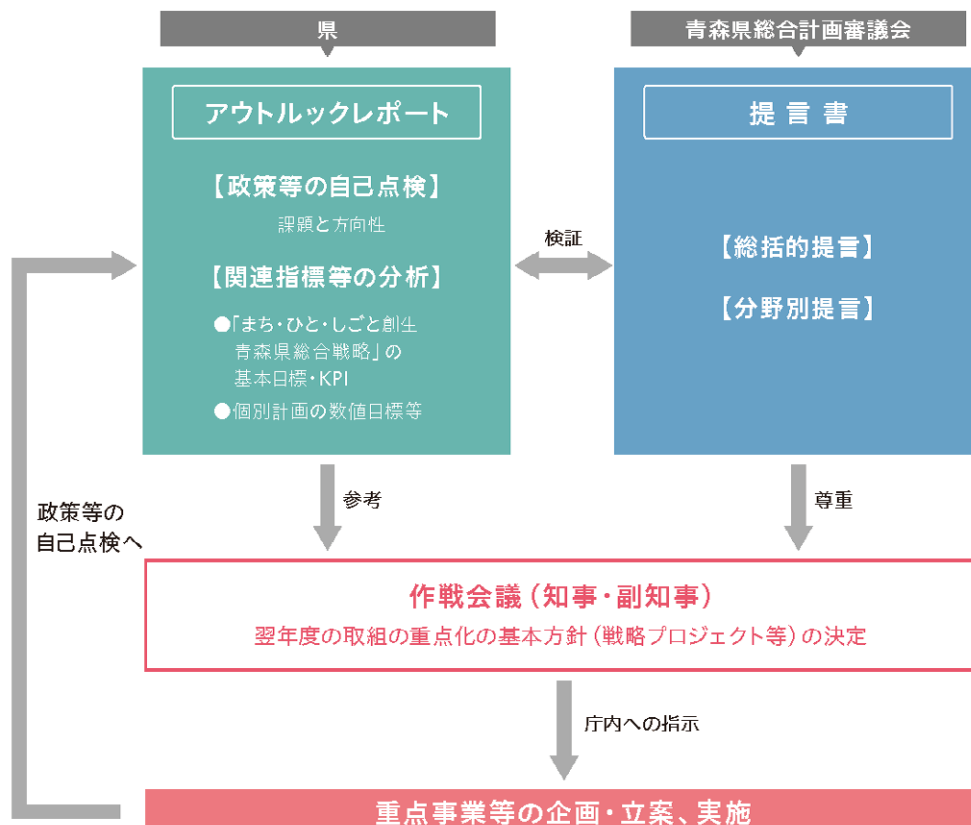
## 1 マネジメントサイクルの展開

「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」（計画期間：2019～2023年度）（以下、「計画」という。）では、「取組の重点化」により計画の着実な推進を図り、めざす姿の実現に向けて、青森県総合計画審議会による検証も実施しながら、計画に掲げた政策の点検を行い、その結果を限られた行財政資源の配分と効果的・戦略的な取組の企画・立案や実効性の高い事業実施につなげるためのマネジメントサイクルを展開することとしています。

アウトルックレポートは、政策の自己点検の結果等のほか、「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」に掲げる基本目標や、個別計画に掲げる数値目標等の状況などにより、本県の立ち位置を様々な角度から多面的に捉え、今後、本県が進むべき方向性について取りまとめ、公表するものです。

今回は資料編において、本県の最重要課題である人口減少克服に関連して、「高等学校等卒業者の進路状況について」の調査結果も掲載しています。

マネジメントサイクル概略図



## 2 構成、内容

	構成	内容
第 1 章	めざす姿の実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」の概要等 今後の大きな課題や、重視していく取組の方向性、人口減少克服に向けて、分野横断的に取り組む5つの戦略プロジェクトなど、計画の概要について掲載しています。</li> </ul>
第 2 章	政策点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの取組の成果 計画に掲げる分野別のこれまでの取組による成果を掲載しています。</li> <li>●分野別政策点検結果等 計画に掲げる分野別の政策・施策及び地域別計画の取組の基本方針に沿って、現状・課題、指標の動向等取組の方向性を掲載しています。</li> <li>●関連指標の動向 「1人当たり県民所得」及び「平均寿命」について、現在の立ち位置を確認します。</li> </ul>
第 3 章	地方創生	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略の進捗状況 「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」において設定した基本目標・KPI（重要業績評価指標）の状況等について掲載しています。</li> <li>●地方創生関連交付金等に係る事業実施状況 「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」に基づく人口減少克服に向けた地方創生関連交付金等活用事業の実施状況をまとめています。</li> </ul>
資料編	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高等学校等卒業者の進路状況について ～男女別・産業別にみた県内就職率など～</li> </ul>

# 第 1 章 めざす姿の実現に向けて

2019 年度からスタートした「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」では、「人口減少克服」を本県の最重要課題に位置付け、2030 年における「生活創造社会」の実現をめざして取組を進めることとしています。

## 1 今後の大きな課題

### 若者・女性の県外流出

- ・ 進学や就職を契機とした若者の県外流出が人口減少の大きな要因になっています。
- ・ 引き続き、多様で魅力あるしごとづくりを進めることが重要になっています。

### 人手不足の顕在化と労働生産性の向上

- ・ 多くの産業分野で慢性的な人手不足が顕在化しています。
- ・ 労働力の適正配分と、一人当たりの労働生産性を高めていくことが重要です。

### 2025 年超高齢化時代への対応

- ・ 2025 年には団塊の世代が全て後期高齢者となり、これまで経験したことのない超高齢化時代を迎えます。保健・医療・福祉体制の一層の充実が大きな課題です。

### 平均寿命・健康寿命の延伸

- ・ 本県の平均寿命は着実に延伸していますが、依然として全国最下位となっています。
- ・ 平均寿命とともに、健康寿命を延伸していくことも重要となります。

### <新型コロナウイルス感染症への対応>

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大は、県民生活に大きな変化をもたらし、様々な経済活動に影響を及ぼしています。
- ・ 感染拡大の防止に最大の注意を払いながら、危機感とスピード感を持って地域経済の回復にも取り組んでいく必要があります。

## 2 今後重視していく取組の方向性

### ① 経済を回す

人口減少社会にあっても持続可能な地域づくりを着実に進めるため、地域において魅力ある「しごと」をつくり、多様な雇用を生み出し、そこで生まれた収入を地域経済の中でしっかりと回していく「経済を回す」仕組みづくりを進めます。

### ② 世界へ打って出る～Local to World～

グローバル化の進展やアジア諸国の経済成長を見据え、これまで以上に世界を視野に入れ、「攻めの姿勢」で取り組みます。

### ③ 労働力不足への対応

若者の県内定着、人財還流を促進し、多様な働き方ができる環境づくりを進めるとともに、AI や IOT の活用などによる省力化や生産性向上に取り組めます。

### ④ 「青森県型地域共生社会」の実現

県民の誰もが地域で安心して老後を迎えることができる「青森県型地域共生社会」の実現をめざします。



### ⑤ 県民の健康づくり

平均寿命、健康寿命の延伸に向け、県民の健康づくりに対する意識向上を図るとともに、ライフスタイルに応じた生活習慣の改善、健診等受診率向上などに取り組みます。

### ⑥ ふるさとあおもりへの自信と誇り

県民誰もが本県への誇りを持ち、県外・海外に向けて自信を持って発信していけるよう、県民の意識醸成に取り組みます。

## 3 戦略プロジェクトの展開

戦略プロジェクトとは、人口減少克服に向けて、「産業・雇用」「安全・安心、健康」「環境」「教育・人づくり」の4分野を横断し、特に重点的に取り組むべきテーマです。

「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」では、成果が現れている分野については一層強化し、課題等には的確に対応していくため、5つの戦略プロジェクトを設定しています。

### <計画に掲げる4分野>

4つの分野を設定し、全県的な視点で取組を展開していきます。



<b>戦略プロジェクト</b>  5つの戦略プロジェクトを設定し、分野横断で重点的に取り組んでいきます。	<b>「選ばれる青森」食と観光成長プロジェクト</b>  ①食の商品力を極める ②食の販売力を極める ③立体観光の推進 ④観光消費の拡大	<b>多様なしごと創出プロジェクト</b>  ①魅力ある雇用の創出 ②多様な労働力確保 ③生産性向上・働き方改革
	<b>「住みたいあおもり」若者・女性プロジェクト</b>  ①高校生・大学生の県内定着促進 ②女性の県内定着促進 ③移住・Uターン促進 ④魅力ある生活環境づくり ⑤結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境づくり	<b>未来へつなぐ「地域のゆりかご」プロジェクト</b>  ①持続可能な地域づくり ②保健・医療・福祉体制の充実 ③交通ネットワーク形成・買物支援の推進 ④多様な主体・人財の参画・協働

### <地域別計画>

このほか、6つの地域県民局の圏域別では、各地域が置かれている状況や特性を踏まえた取組を進めていきます。

## 第 2 章 政策点検

### 1 これまでの取組の成果

#### (1) 産業・雇用分野

##### 政策 1 アグリ分野の持続的成長

- 大手量販店での「青森県フェア」の開催や関係団体と一体となったセールスを実施した結果、県産品の通常取引額は 261 億円（2013 年度）から 286 億円（2018 年度）に増加しました。
- 農林漁業者が行う商品開発の初期的取組を支援し、2009 年度から 2019 年度までに 653 品の新商品が開発され、「地域の 6 次産業化」が拡大しました。
- 「A! P r e m i u m」を活用し、西日本へ重点的にセールスを実施した結果、量販店等 695 店舗へ県内 5 社、37 商品の新たな取引が成立し、販路が拡大しました。
- 八戸港のコンテナ貨物取扱量増加を図るため輸出入を行う荷主企業に対する助成や船会社等へのポートセールスを実施したところ、5 年連続で貨物取扱量 50,000 T E U（20 フィートコンテナ換算個数）を突破しました。
- 農業者の所得向上のため現地普及活動を展開した結果、省力技術である水稻直播栽培の面積が 911 h a（2014 年度）から 1,533 h a（2019 年度）に増加しました。
- 県産米「青天の霹靂」は、土壌診断に基づく土壌改良や玄米たんぱく質含有率の出荷基準の徹底などを実施した結果、日本穀物検定協会実施の食味ランキングで、デビューした 2015 年度産米から 5 年連続で最高ランク特 A 評価を獲得しました。
- 地域の中核を担う集落営農組織や農林漁業法人等が地域貢献に資する取組を支援したところ、地域経営体が 2018 年度には 336 経営体となり、2020 年度までの育成目標 300 経営体を達成しました。
- 新規就農者の確保・育成を実施した結果、新規就農者は 256 人（2018 年度）となり、新規就農者数の調査開始以来、非農家出身者が農家出身者を上回る高い水準で推移しています。

##### 政策 2 世界から選ばれる「あおもりツーリズム」の推進

- 2020 年 2 月末現在、県内の日本版 DMO 法人は 3 法人が登録されたほか、日本版 DMO 候補法人は 3 法人が登録され、昨年よりも増加しています。
- 専門家のアドバイス等を受けながらターゲットに応じた情報を発信したところ、まるごとあもりの SNS フォロワー数が大きく増加しました。
- 県内縄文遺跡群への観光客受入態勢の整備を促進するとともに、東アジア、欧州において P R したことにより、国内外における本県の縄文遺跡群の認知度が向上しました。
- クルーズ船関係者の現地招請など P R を実施したところ、青森港への海外クルーズ船の寄港数は 21 隻（2019 年）に増加しました。

### 政策3 ライフ・グリーン分野の産業創出

- ライフ産業への県内企業参入を促進した結果、参入意欲を持つ県内企業は 263 社（2019 年度）、プロテオグリカン商品数は 296、製造品の累計出荷額は 245 億円に増加（2019 年 9 月）しました。
- 買物弱者支援サービスの組み合わせによる事業モデルの採算性等を検証したところ、2 事業者が採算性を確保し、サービスを継続しています。
- 青森県再生可能エネルギー産業ネットワーク会議会員数は 259 者（2019 年度）と着実に増加しています。

### 政策4 地域産業の振興による多様な「しごと」の創出

- 多様な分野での創業・起業につなげるため、県内の創業支援拠点において伴走型支援を実施したところ、県内の創業者数は 142 名（2019 年度）と、4 年連続で 100 名を突破しました。
- 中小企業の事業活動の促進と経営の安定を図るため青森県特別保証融資制度を実施したところ、2015 年度からの 5 年間で 7,814 件、約 914 億円が融資され 721 人の雇用を創出しました。
- 戦略的な企業誘致を展開したところ、新規誘致件数は 12 件（2019 年度）となりました。近年は特に、非製造業（主に情報・クリエイティブ産業）の立地が増加しています。

### 政策5 「経済を回す」ための基盤づくり

- 近年、あおもり U I J ターン就職支援センターの利用件数が増加しており、2014 年度から 2018 年度の U I J ターン就職者のうち 110 人がセンターの利用者となっています。
- これまで移住支援金を活用し東京 23 区から 7 名が青森県へ移住しています。またそのうち 6 名が県内中小企業等への就業し、1 名が創業・起業しています。
- 将来の労働力確保のため、児童やその保護者に職業や県内企業への関心を喚起する「ジョブキッズあおもり」事業を実施した結果、900 名を超える参加者から好評を博し、県内で働くことや県内企業への意識醸成に寄与しました。
- 「あおもり女子就活・定着サポーターズ」（通称：あおもりなでしこ）による交流会（県内外 6 回）、企業見学会及び県内大学等での講話を実施したところ、計 820 名の学生等が参加し、県内就職の意欲を醸成しました。
- ICT 施工の普及・啓発のためセミナーや研修会、現場見学会等の取組を実施したところ、ICT 施工の認知度が向上しました。
- 発達する ICT 技術を活用した新ビジネスの創出や地域課題の解決に取り組むため、企業の人財育成や製品開発を支援したところ、冷蔵・冷凍設備における AI を活用した故障予兆感知システムの開発など、新製品開発の事例を創出しました。



## (2) 安心・安全、健康分野

### 政策1 県民一人ひとりの健康づくりの推進

- 職域での働き盛り世代の健康づくり推進のため、「青森県健康経営事業所」を認定した結果、2017年の制度開始から3年間で243事業所に増加しました。
- 市町村に対する研修、きめ細かな個別支援を実施した結果、糖尿病性腎症重症化予防事業の実施市町村は、29市町村（2018年度）から37市町村（2019年度）に拡大しました。また、重症化予防プログラム策定も26市町村（2018年度）から34市町村（2019年度）に増加しました。
- 健康づくりの普及啓発活動を実施したところ、民間企業による「だし活」商品（小売用14商品、給食用9商品）や、塩分・糖質・機能性に着目した食品、総菜など、健康応援食品の開発・商品化が加速しています。

### 政策2 県民が、がんを知り、がんの克服をめざす対策の充実

- 受動喫煙防止対策に取り組む施設等を県が認証する「空気クリーン施設」は、4,296件（2019年12月末現在）で5年前の2倍以上となっています。
- 大腸がん検診未受診者を対象としたモデル事業による検証によって、未受診者のがん発見率が受診者の2倍以上高いことが確認できました。
- がん診療連携拠点病院等が未整備だった西北地域において、国の基準に準じる診療機能を有する「青森県がん診療連携推進病院」が新たに指定（2020年4月）されました。

### 政策3 質の高い地域医療サービスの提供

- 医療進学拠点校でのセミナー、医学生への修学資金貸与、若手医師のキャリア形成支援など、多方面から医師の育成・県内定着促進活動などにより、県内高等学校からの医学部医学科合格者数や県内臨床研修医採用者数は増加傾向にあります。

### 政策4 誰もが生き生きと安心して暮らせる環境づくり

- 保健・医療・福祉の包括的な支援体制の構築などによる「青森県型地域共生社会」の実現に向け、多職種連携教育をコーディネートする人財を約300名養成し、各地域で活躍しています。
- 高齢者の食事、移動、買物など様々な生活支援サービスを提供する体制の構築に向け、担い手育成や生活支援サービスの実証に取り組んだところ、移動販売や住民主体のお出かけサービスなど、地域の課題解決につながる実践例が生まれました。

### 政策5 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

- 子育てしやすい職場環境づくりなどに取り組む「あおもり働き方改革推進企業」は制度創設から約3年で124社に拡大しました。
- 「保育所・保育士支援センター」を設置（2015年度）し、潜在保育士の再就職支援や求人・求職マッチング支援等を実施した結果、毎年10月以降に発生していた待機

児童数が減少傾向となっています。

## 政策 6 原子力施設の安全確保対策と原子力防災対策の推進

- 継続的に県内 27 か所及び原子力施設周辺の空間放射線量の測定し、結果を公表しています。
- 対象 5 市町村（むつ市、野辺地町、横浜町、六ヶ所村、東通村）において地域防災計画（原子力災害対策編）等の修正作業を進めています。

## 政策 7 災害や危機に強い人づくり、地域づくり

- 防災人財の育成などにより、女性消防団員数が 500 名まで増加し、自主防災組織活動カバー率が 54.4%に向上しました。
- 防災ハンドブック「あおもりおまもり手帳」を毎戸配布し、周知・啓発を推進しています。

## 政策 8 安全・安心で快適に暮らせる生活環境づくり

- 交通ルールの遵守に向けた広報啓発活動等を実施した結果、交通事故発生件数・負傷者数は 2001 年をピークに 2002 年以降 18 年連続で減少し、2019 年度の交通事故死者数は 37 人と過去最少となりました。
- 消費者被害を防止するため、2015 年から県内全域で消費生活相談体制を整備するとともに、各種啓発や消費教育を行った結果、消費者ホットライン（局番なし 188）の認知度は 2015 年度の 22.5%から 33.5%まで上昇しました。
- 食品事業者等の衛生水準を高めるため、H A C C P 推進連絡会議やセミナーの開催や、衛生管理に関する知識と技術を持った人財の効果的な育成を行った結果、H A C C P 認証施設数が 279 施設（2020 年 3 月末現在）にまで増加しました。

### （3）環境分野

## 政策 1 自然と共生する「暮らし」や「生業（なりわい）」を育む環境づくり

- 自然愛好家の SNS を通じ白神山地の魅力を発信したほか、県内ガイド 19 名に対し、外国人を始めとする自然公園利用者を対象としたマナー・ルールの研修会を実施した結果、白神山地への関心力やガイドの現場対応力が向上しました。
- 鳥獣被害防止対策の効率・省力化を図るため、ICT 技術を活用したモデル実証を実施した結果、取組が市町村に拡大し、野生鳥獣による農作物被害が減少しました。

## 政策 2 県民みんながチャレンジする低炭素・循環型社会づくり

- 小学生向け「3R チャレンジ」の実施や多量排出事業者等への訪問指導、市町村及び民間事業者等で構成する「3R 推進地域ネットワーク会議」を実施した結果、県民や事業者による 3R 推進の意識が高まりました。
- 「COOL CHOICE あおもり」を合言葉にした、市町村連携によるローラー作戦や本県本

拠地のスポーツチームを起用した普及啓発、家庭での日常生活における「エコ活」の促進などにより、本県における温室効果ガス排出量が着実に減少しています。

### 政策3 あおもりの環境を次世代へつなぐ人づくりと仕組みづくり

- 環境教育専門員や地域のNPOとの協働による環境出前講座等を実施した結果、受講者数は過去5年間2,500人以上で推移しており、環境に配慮した行動の実践方法等について理解が促進されました。
- 県内外の企業に対して森林づくりの活動についての具体的な企画を提案した結果、2019年度時点で企業の森づくり協定締結団体は23団体に達しており、着実に増加しています。

## (4) 教育、人づくり分野

### 政策1 あおもりの未来をつくる人財の育成

- 体験型語学研修会として海外4箇所（台湾・シンガポール・フィリピン・ハワイ）へ高校生85名を派遣したことにより、参加者の国際交流活動・留学・海外研修への意識は着実に向上しています。
- 医学部医学科進学を志す高校生の実力向上のための学習セミナーを実施した結果、2020年3月に県内高等学校から68名が合格しました。
- 「青森県特別支援教育情報サイト」の開発・普及及び校内支援体制や学校間連携を指導・助言するアドバイザーを配置した結果、各地域において特別な教育的ニーズのある児童生徒への指導の実施や支援が強化されました。
- 教員の業務支援を図るため、スクール・サポート・スタッフを小・中学校6校に配置した結果、導入校において教員1週当たり勤務時間が、前年度より平均で週1時間46分減少しました。
- 新規高等学校卒業者の早期離職解消を目的に、生徒、保護者と県内企業との相互理解を図る交流会等を実施した結果、就職後3年以内の離職率は、2012年以降減少傾向でしたが、2015年以降は横ばいで推移しています。
- 地域で学校を支える仕組みをつくるため、教職員や地域住民等の意識啓発を促す研修会等を実施した結果、地域学校協働本部の設置率は増加傾向にあります。

### 政策2 あおもりの今をつくる人財の育成

- 地域をけん引するリーダーの育成とネットワーク化を目的に「あもり立志挑戦塾」を開催しており、2019年度末で延べ279名が修了し、県内各地で活躍しています。
- UIJターンも含めた首都圏等からの移住促進のため、相談体制の強化や情報発信、セミナーの開催等を実施した結果、移住に関する相談・情報提供は12,620件（2019年度）となり過去最多となっています。
- 中小企業におけるイクボス的マネジメントの普及促進や女性活躍推進協議会を活用した連携強化、男性の家事・育児参画促進に向けたイベントを実施した結果、2016

年度の6歳未満の子供がいる夫の週平均1日あたり家事・育児時間は、妻との格差はまだまだ大きいものの2011年に比べ伸びています。

### 政策3 あおもりの活力をつくる文化・スポーツの振興

- 文化庁や関係自治体と連携し「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録に必要な推薦書の改定作業等を実施したところ、政府からユネスコへの推薦が正式決定し、ユネスコに受理されました。
- 地域の文化芸術資源を発掘し、情報発信することで、故郷の文化の魅力に気付きを与え、地域の活性化につなげています。
- 総合型地域スポーツクラブの増加に向け、未設置及び設立準備団体の町村に対し設立・運営の支援及び啓発等を実施したところ、設立準備団体を含め42クラブと着実に増加しています。

## 2 分野別政策点検結果

# 1.



## 産業・雇用分野

しごとづくりと所得の向上

政策

施策

### 政策1

アグリ分野の  
持続的成長

- ①消費動向の変化を見据えた販売戦略の展開
- ②経済成長が著しいアジアなどへの青森県産品の輸出促進
- ③安全・安心で優れた青森県産品づくり
- ④連携・協働・交流による活力ある農山漁村づくり
- ⑤農林水産業の成長と共生社会を支える人財育成

### 政策2

世界から選ばれる  
「あおりツーリズム」  
の推進

- ①観光産業の基幹産業化
- ②魅力あるコンテンツづくりと戦略的な情報発信
- ③誘客促進のための受入環境の整備
- ④国内誘客の強化・推進
- ⑤海外からの誘客の強化・推進

### 政策3

ライフ・グリーン  
分野の産業創出

- ①地域資源を活用したライフ分野に係る新産業の創出・育成
- ②生活関連サービス産業の創出・拡大
- ③再生可能エネルギー産業と環境関連産業の振興
- ④原子力関連産業の振興

### 政策4

地域産業の振興による  
多様な「しごと」の創出

- ①創業・起業の促進
- ②地域資源を生かした産業の創出・育成・継承
- ③青森から世界への戦略的グローバルビジネスの展開
- ④戦略的企業誘致の推進

### 政策5

「経済を回す」ための  
基盤づくり

- ①労働力確保対策の強化
- ②若者・女性の県内定着・人財還流の促進
- ③働きやすさや収益性を高める生産性向上対策の強化
- ④ICT利活用の促進
- ⑤交流拡大を支える交通ネットワークづくり

# 2.



## 安全・安心、健康分野

命と暮らしを守る

### 政策1

県民一人ひとりの  
健康づくりの推進

- ①ヘルスリテラシー（健やか力）の向上による生活習慣の改善
- ②社会で取り組むこころの健康づくり

### 政策2

県民が、がんを知り、がんの  
克服をめざす対策の充実

- ①科学的根拠に基づくがん対策の推進
- ②がんになっても、適切な治療を受け、安心して暮らせる体制の充実

### 政策3

質の高い地域医療  
サービスの提供

- ①医師等の医療従事者の育成と県内定着
- ②医療連携体制の強化

### 政策4

誰もが生き生きと安心して  
暮らせる環境づくり

- ①保健・医療・福祉包括ケアシステムの充実
- ②高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境づくり
- ③障害者等が自立し、安心して暮らせる共生社会づくり

### 政策5

安心して子どもを産み  
育てられる環境づくり

- ①結婚・出産への支援や社会で支え合う子育ての推進
- ②様々な環境にある子どもや家庭への支援の充実
- ③親子の健康増進

政策

施策

政策6  
原子力施設の安全確保対策と  
原子力防災対策の推進

- ①安全確保対策と防災対策の充実
- ②安全確保対策と防災対策に係る理解の促進

政策7  
災害や危機に強い  
人づくり、地域づくり

- ①安全・安心な県土づくり
- ②地域防災力の強化や危機管理機能の向上

政策8  
安全・安心で快適に  
暮らせる生活環境づくり

- ①安全で快適な生活環境づくり
- ②犯罪に強い地域づくりの推進
- ③交通安全対策の推進
- ④消費生活と「食」の安全・安心確保

# 3.

## 環境分野

自然との共生、  
低炭素・循環による  
持続可能な地域社会

政策1  
自然と共生する「暮らし」や  
「生業(なりわい)」を育む  
環境づくり

- ①世界自然遺産白神山地や貴重な自然の保全と活用
- ②豊かな森林と身近な里地里山の保全と活用
- ③地域の協働による健全な水循環の確保

政策2  
県民みんながチャレンジする  
低炭素・循環型社会づくり

- ①「もったいない」意識のもと県民一丸となった3Rの推進
- ②暮らしと地球環境を守る省エネルギーの推進
- ③地域特性を生かした再生可能エネルギーの活用促進
- ④廃棄物の適正処理と環境保全対策の推進

政策3  
あおもりの環境を  
次世代へつなぐ  
人づくりと仕組みづくり

- ①子どもから大人まで、あおもりの環境を次世代へつなぐ人づくり
- ②環境にやさしい行動を促進する仕組みづくり

# 4.

## 教育・ 人づくり 分野

生活創造社会の礎

政策1  
あおもりの未来を  
つくる人財の育成

- ①青森を理解し、世界に向かってチャレンジできる人づくり
- ②「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」の育成
- ③一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- ④子どもが安心して学び、多様な能力を伸ばす教育環境の整備
- ⑤「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進
- ⑥学校・家庭・地域が連携し社会全体で子どもを育む仕組みづくり

政策2  
あおもりの今をつくる  
人財の育成

- ①活力ある持続可能な地域づくりのための人づくり
- ②移住の促進など多様な人財との交流の推進
- ③あらゆる分野における女性の活躍推進
- ④生涯を通じた学びと社会参加活動の拡大

政策3  
あおもりの活力をつくる  
文化・スポーツの振興

- ①歴史・文化の継承と活用
- ②文化芸術に親しむ環境づくりと人づくり
- ③健康でスポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上

### 政策点検結果の記載内容について

#### <「指標の動向」>

各政策に関連する主な指標の推移等を掲載しています。このうち、「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」に掲げる基本目標及びKPI、県の個別計画に掲げる数値目標については、それぞれ基本目標、KPI、個別計画、と表示しています。

<現状と課題>と<取組の方向性>の内容は左右対称で読み取れる記載方法となっています。